

川崎・多摩丘陵の里山を守る会

熊野森・里山通信



熊野森保全活動と木札作り

熊野森緑地は提供公園となり、早や 10 年が過ぎました。

公園となった当初は、山の斜面に大木の切り株が目立ち、美しい緑地とは程遠い姿でした。しかし木々の生命力は凄まじく、年月を経て、萌芽更新した切り株から若木となり、今では何本もの木立となっています。元有った木々は、背丈を伸ばし、花が咲いたり実がなって、熊野森に四季の変化を私たちにを見せてくれますが、葉が密集して緑地の風通しを妨げている木なども増えています。

わたし達の活動は、熊野森がより明るく美しい雑木林になることを目指し、夏場には、生い茂ったアズマネザサや下草の刈り取りに、かなりの時間を費やしています。又、枯れた枝や茂り過ぎた枝を払ったり、数本にもなった木立ちが美しい姿になるように、3本立ち、5本立ちにしたりと、この10年間、地道に作業を続けてきました。

7年程前には、竹を割って周りを囲い、^{しゅうろ}棕櫚縄で締めて、手作りのヘッジ（堆肥マス）を作りました。里山活動で集めた落葉を運び入れ、米糟を混ぜ、腐葉土を作り続けて、肥料として循環させています。最近周りの竹が朽ち始め、補修が必要となりましたが、そのような変化とともに、年月の経過を実感し、また近年カブト虫の幼虫が腐葉土の中に見られるようになり、これは皆の活動の喜びとなっています。

緑地の全体像を今一度認識するため、昨年度は一年をかけて毎木調査（どこにどんな木が分布し、その木の大きさなど詳細に調べる）を行いました。この調査によって、今後の緑地の手入れが計画的に出来るようになると思っています。

そして、一本一本の木の名称を明記した木札作りもスタートしました。これまでも折に触れ、木札付けはしていましたが、取れたり名前が消えてしまっているものも有るので、今回、新たに100本の木に札を取り付ける事にしました。まず、木札はより長持ちするようにシーラーを下塗りし、乾燥させてから、次に木の名を書いたら、その上に油性ニスを塗ります。南斜面の階段脇など、人目に付きやすい木に取り付ける事から始めます。その際、今後の成長を見越して棕櫚縄で緩くもぎつくもないように取り付けます。この作業は、木々の葉が少なくなったこれからは取り付けやすく、頑張り処と思っています。新しい木札を目にされましたら、少し立ち止まって、木の名、木の様子を見てみてください。そして再び熊野森に来られた時、その木の変化を楽しんでください。

(ののすみれ)



川崎・多摩丘陵の里山を守る会

2014年12月

【問い合わせ・連絡先】

URL <http://www.k-satoyama.org>

E-mail info@satoyama.org

熊野森緑地に掲示板を設置しました

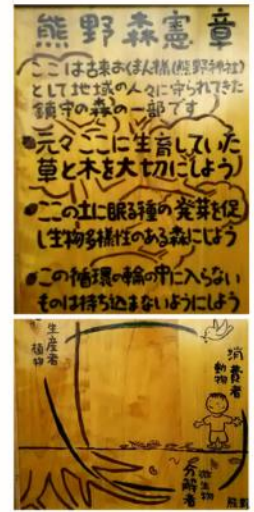


川崎・多摩丘陵の里山を守る会（以下、里山を守る会）では、私たちの活動や末長熊野森緑地の保全と有効利用、それに加え、地域コミュニティの活性化を図りたいと思い、2014年4月、末長熊野森緑地内に、写真のような掲示板を設置しました。

今から16年前、熊野森（久本山）はマンション建設のために、広大な面積の樹木が伐採され、山肌が露出しました。その一角が川崎市に公園

として提供され、末長熊野森緑地となりました。それから10年余り、地道な緑地保全活動を経て、緑豊かな現在の状況にまでなることができました。その間、「トラスト運動」として多くの方々の基金援助のご協力により、今年、掲示板設置となりました。

右の写真は、掲示板に表示した「熊野森憲章」です。動植物と人間が上手に共存しながら、癒しの場としての末長熊野森緑地を、皆さんで維持していくよう、心をこめたメッセージを書きました。皆さんも、是非一度、熊野森緑地にお越しただいて、この掲示板に会いにいらしてください。（楓まあさ）



末長熊野森 体験記

現在、大学の卒業研究で川崎市の緑地保全について調査をしています。その関係で縁あって、2014年の6月からこの熊野森緑地にも訪問することになりました。一緒に作業をさせていただく中で、会のみなさまが作業の方法や地域のことについて親切に教えてくださり、いつも感謝、感謝です。初めて熊野森に来たときは、右も左もわからない状態で、公園での木の剪定や熊野森でのアズマネザサの刈りにとっても苦労しました。その後みなさまの協力もあって回数を重ねるうちに周囲に注意を払いながら木々の剪定や下草刈り、日当たりをよくするための間伐に取り組みことができるようになりました。足場が悪くやや作業がしづらい箇所もありますが、非常にやりがいを感じております。私は川崎市内の他の里山にも訪問しておりますが、熊野森は多くの子どもたちが元気に走り回って、虫や草花に触れあっているのがとても印象的でした。他の地域では活動している方のほとんどが高齢の方という場合が多く、これからの保全活動について「先行きが不安」という地域もあります。川崎市内では多くの住宅が開発されてきましたが、コンクリートだらけの環境で生活するのもちょっと心苦しく感じる人もいるのではないのでしょうか。そんな中で熊野森のような草・木・花・いきものに囲まれた憩いの場所をもっと守っていこうとする動きがひろまり、より多くの人に関心を持ってくれたらいいなと思います。（A.T）



久保台公園まつり

4月13日（日）に第8回「久保台公園まつり」が、「高津のさんぼみち」江戸見桜の少し手前にある末長久保台公園で行われました。例年同様にフリーマーケットではリサイクルの衣料や家庭用品、おもちゃなどが売られており、こんにやく玉やホットドックのほ

か、例年の熊野森産あんず酒に加え、生ビールも人気がありました。子ども達になつかしの「ベーごま」を知ってもらおうと、ベーごまの達人・宮田守さんを講師にお願いし、遊び方講習が行われました。ベーごまは軸の無い鉄製の駒にひもを巻いて、それを丸いへこんだ台の上で廻してはじきあって遊ぶものです。子供たちに人気があったのはもちろん、意

私の畑体験学習について



私が育った環境の中では、農業及び土いじりは近くて遠い存在でした。そんな中、この「里山の会」と出会い、畑作業も行っている事を知り、妻と共に参加しました。会員のみなさま方と共に「完全無農薬栽培」を目指し、非力ではありますがお手伝いをさせていただいております。

今活動している畑は、季節ごとの野菜の葉に虫食いが見られ、やがて、さなぎが見つかり、気が付かないうちに成虫となる。この一連の自然観察が出来るのも一つの楽しみです。灌漑設備も無い、畑の一角のわずかな面積で、ほんの少しだけみんなで野菜を育てています。したがって、真夏の水やりから始まり自然相手の育成は、言うのは簡単ですが手間はかかります。目標の作物を育て収穫する作業が如何に大切かを再確認しています。これからも、仲間のみなさまと共に足を引っ張らないように頑張ります。(A.K)



ターザンの木保全

枝ぶりがとても素晴らしく、雄大な姿のスダジイの大樹。子ども達にとって登りやすい木で、「ターザンごっこ」をしたと言われたことから「ターザンの木」という愛称で、昔から大変親しまれています。

このスダジイの木の実を拾って割って食べてみたところ、栗のように甘く新発見のおいしさでした。昔の子ども達は、このどんぐりの実を沢山集めて、「クッキーにも混ぜて食べたものよー」と地元で育ったご壮年の方が教えてくれました。悲喜こもごも、何世代にも渡り、ずっと私たちを見守り続けてくれているこの大樹の前に立つと、何とも言えない感謝の思いがいっぱいに広がります。週末になると子ども達がワイワイがやがや集まって大樹の中に秘密基地を作り、グループ独自の〇〇共和国という名前をつけ、その国の約束事を決めるなどして、にぎやかに遊んでいる姿を見かけると嬉しくなります。私たち大人は、人工的な世界で神経をすり減らしており、このように身近で自然を感じる環境も余裕も少ないので、時には美しい大自然に接して心の洗濯をしたいものですね。そして、道端に萌え出す日本タンポポなどの若芽、庭先のお花一輪にも、四季折々の変化の中に自然の摂理を学びとっていききたいものです。次世代の子ども達へ、またその子ども達へとつながっていくように末長くいつまでも、緑多き環境を守るべく私たち地域の大人が地道にしっかりと、これからも緑地保全に努めて参りたいと思います。みなさま、ご賛同、ご協力のほどよろしくお願いします。(星あず)



外とお母様・奥様方に好評で次々と参加され、大変楽しんでおられました。近隣の方々にお集まりいただき、フリマショッピングなどを春の陽気とともに楽しんでおられた様子で、まつり実行委員もやり甲斐を感じられた一日でした。(喜多)

第9回久保台公園まつり開催日決定！

お楽しみに♪

2015年4月12日(日) 10:00~14:00



久保台公園の清掃

12月3日(水)に、幼稚園のバス停として久保台公園を利用している幼稚園のお母さんたちに声をかけて、公園の清掃を行いました。落ち葉が大量にありましたが、さすが主婦として日々お掃除をしているお母さま方は、隅々まで手際よくわずか30分程の清掃で大きなゴミ袋7～8袋の落ち葉を集めることができました。公園もきれいになったので、お母さんたちもすっきりさわやかな気分になっているようでした。次から次へと落ちてくる秋の落ち葉は量も多く、普段の月1回の公園清掃活動に加えて、このような機会を作ることは大切だと実感しました。(さくら)



『川崎・多摩丘陵の里山を守る会 第15回総会の報告』

第15回目の総会に出席して一番嬉しかったことは、活動拠点の近くに住む新会員が増え、総会に参加されたことです。そんな総会での本年度の活動を報告します。前年度に実施した植物観察会・植生調査の結果を踏まえ、日頃より雑木林の再生を目指しています。それにより選別した木が太くなったため草刈り機による下草狩りを実施しましたが、定例活動だけでは下草刈りが追いつかなくなったので、8月に高津道路公園センターに依頼して整備が実施されました。その甲斐あってか、日陰となる木を剪定した末長熊野森緑地南斜面には木漏れ日が射し秋にはゴンズイ、サンキライがきれいな赤い実をつけました。『緑地保全』活動を里山ボランティアとして担うために、この地域の文化・生態を学習しながら、多摩丘陵らしい雑木林作りに力を入れていきたいと思えます。

(やよいもも)

2014年6月17日、第15回総会を開催し2013年度活動報告・決算報告を承認し、更に2014年度の活動計画・予算案を決定しました。

【活動方針】

「末長久保台公園協議会」と「末長熊野森緑地協議会」、「久本山ターザンの木緑地愛護会」の活動を継続しながら、高津区内の緑地保全活動を継続します。また、畑を借りての農作業体験である野菜作りは、会員の楽しみとなったので継続します。前年度作成した樹木の地図作り(毎木調査)を利用し、熊野森緑地と久保台公園の木に名称版を付けます。定例の作業時は、多くの人手が必要とするため会員加入をすすめます。定例作業の後には交流会をひらき、試行錯誤の里山ボランティア活動の進め方を検討します。2013年3月に設置された掲示板を利用しながら、私たちの活動を周辺住民に知らせていきます。

〈定例作業〉 2015年1月18日、2月15日、3月15日、4月19日、5月16日、6月21日

〈活動場所〉 末長久保台公園 午前10時～10時半
末長熊野森緑地 午前10時半～11時半

会費の納入について(★平成25年度会費の納入をお願いします)

〈振込方法〉

①ゆうちょ銀行での場合

振込口座 記号 10260

番号 63488511

名前 カワサキ タマキユウリョウノサトヤマヲマモルカイ

(ゆうちょ銀行の口座から、キャッシュコーナー利用での振込だと手数料無料)

②ゆうちょ銀行以外の金融機関からの場合

振込口座 店名 ○二八(読み ゼロニハチ)

店番 028

預金種目 普通預金

口座番号 6348851

川崎・多摩丘陵の里山を守る会

【問い合わせ・連絡先】

URL <http://www.k-satoyama.org>

E-mail info@satoyama.org